

## 平成23年度 丹後広域振興局 運営目標

地域振興計画	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
重点施策等	(1)	丹後「日本海観光」プロジェクト (日本海観光構想の実現に向けて)	基本目標
運営目標	1	丹後こだわりの魅力を創出します。	
	小項目	①丹後広域観光キャンペーン協議会と連携し、魅力ある観光スポットや「食」を結んだ四季型・滞在型旅行を創出し、旅行会社への提案力を強化(10商品)【新規】 -「丹後あじわいの郷」を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化 -山陰海岸ジオパークや天橋立、温泉など、魅力ある観光スポットを巡りながら、ジオパークをはじめとする特徴的な地形や海、大地から生まれるカニ、丹後とり貝など、四季折々の「食」を満喫する「丹後・食の王国」ツアーなどの四季型旅行 -2013年の「丹後国誕生1300年」や「細川ガラシャ生誕450年」など、新たなテーマの発掘による滞在型旅行 -「国民文化祭・京都2011」と連動した、与謝蕪村の俳句や与謝野晶子の短歌などの文化をテーマとするコース -碓高原牧場の畜産体験や丹後半島の海と山・高原等の自然が一体となったコース 等	
	2	メディア等を活用し「ふるさと丹後」を発信します。	
	小項目	①テレビや雑誌等の媒体を活用し、山陰海岸ジオパークや世界遺産登録をめざす天橋立をはじめとする丹後の魅力を積極的に発信(100回)【22目標:70回 → 実績:89回(テレビ63回、雑誌26回)】	
	3	多様な顧客ニーズに対応した接客サービスを充実します。	
	小項目	①観光協会と連携し、東アジア(中国、韓国、台湾、香港等)などをターゲットとした外国人観光客の誘客を推進 -外国語会話や接客講座等による外国人観光客に対応できる人材育成(英語、中国語 各15回)【新規】	
	4	観光誘客を促進する丹後半島一周道路の整備を推進します。	
小項目	①大型バスでの観光を促進とする国道178号の整備推進 -蒲入バイパスの一部取付部の工事着手、里波見工区の用地買収着手 -宮津市日置～長江間、伊根町蒲入～京丹後市丹後町袖志間などの法面防災工事		

地域振興計画	1 産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)
重点施策等	(2) 「丹後・食の王国」プロジェクト (丹後・食の王国構想の実現に向けて) <b>基本目標</b>
運営目標	<p>5 丹後の強みをいかした産品を増強します。</p> <p>①生育管理技術の向上や生産者への指導を強化し、丹後産コシヒカリの特A評価を復活 (技術指導強化 15カ所)【22目標:5カ所 → 実績:5カ所】      ー技術研修会の開催(4回)      ー栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信(20回)      ー丹後産米の品質向上を図る試験研究の推進(有機質肥料による食味向上技術の開発や高温耐性のある良食味品種の選定等)</p> <p>②ブランド京野菜等の付加価値向上などにより、出荷量の拡大を図ります。      ーブランド京野菜の年間出荷額の増大(3.8億円)【22目標:3.8億円 → 実績:2.9億円】      ー丹後の主力農産物出荷量の拡大      (みず菜450t、九条ねぎ100t、黒大豆枝豆80t、聖護院だいこん90t、京たんご梨[ブランド]出荷率25%)      【22目標:みず菜450t、九条ねぎ100t、聖護院だいこん90t、京たんご梨[ブランド]出荷率25% → 実績:みず菜323t、九条ねぎ74t、      聖護院だいこん53t、京たんご梨[ブランド]出荷率12%】</p> <p>③新たな流通形態である『予約相対取引』を推進し、京野菜生産者の所得安定と生産力、ブランド力を強化 (「みず菜」→拡大、「九条ねぎ」→構築)</p> <p>④丹後の主力農産物新規栽培者の拡大      ー丹後地域特産物育成協議会における3か年目標(H22～24)に基づき、各作物12名以上の新規栽培者を拡大      (みず菜4名、九条ねぎ4名、黒大豆枝豆4名、コギク4名)      【22目標:みず菜4名、九条ねぎ4名、黒大豆枝豆4名、コギク4名 → 実績:みず菜7名、九条ねぎ14名、黒大豆枝豆9名、コギク7名】</p> <p>⑤茶産地盤確立のため50haの優良茶園を整備(新規植栽2.7ha[47.3ha→50ha])【22目標:3ha → 実績0.3ha】</p>
	<p>6 丹後の特色をいかした新たな食材の開発や食関連ビジネスを創出します。</p> <p>①地域の食材を活用した新たなみやげ品の開発支援(みやげ品の開発支援 2点以上)【新規】</p> <p>②異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化の取組を支援 (異業種交流による取組む連携体数 10連携体)【22目標:8連携体 → 実績:8連携体】 (6次産業化に取組む経営体数 3経営体)【新規】</p> <p>③製茶技術指導の強化や茶流通業者等との交流会の開催により、丹後産宇治茶の市場評価向上 (新たに製茶技術を習得する農家数 2戸)【22目標:2戸 → 実績:2戸】 (茶流通業者等との交流会 2回)【22目標:1回 → 実績:1回】</p> <p>④「薦池大納言」の優良種子確保による高品質化や料亭や加工業者等との委託契約栽培等により、ブランド力を強化します。</p> <p>⑤ブランド水産物(丹後とり貝)の生産拡大      ー新規漁場1箇所(久美浜湾)、京のブランド産品認定1地区(久美浜湾)【新規】</p> <p>⑥「丹後・食の王国」の裾野を広げる新たな丹後オリジナル食材(規格外製の業務用梨果汁ソース)の商品化や猪・鹿肉の安定供給システムづくりを支援(業務用梨果汁ソースを活用した新たな商品数 5点)【新規】</p>

<b>運営目標</b>	<b>7</b>	<b>和牛振興基地をめざした牧場づくりを推進します。(和牛生産基地である碓高原牧場における和牛子牛の生産拡大)</b>
	小項目	<b>①和牛受精卵(胚)の生産譲渡の拡大や担い手農家への妊娠した牛の譲渡</b> <b>(受精卵(胚)譲渡数 300胚)【22目標:300胚 → 実績:200胚】</b> <b>(妊娠牛譲渡数 10頭以上)【22目標:12頭 → 実績:11頭】</b>
	小項目	<b>②優良和牛繁殖雌牛の導入(8頭以上)と遺伝的能力の高い子牛の安定供給(子牛出荷50頭、生産頭数55頭、妊娠頭数60頭)</b>
	<b>8</b>	<b>観光との連携、販路開拓やPR等の取組を推進します。</b>
	小項目	<b>①山陰海岸ジオパークや天橋立などの観光と丹後の「食」を結びつけた戦略的なPRを展開し、新たな販路開拓を推進</b> ー 国民文化祭の食文化の祭典「海」において、海産物を中心とした地域の産品を広く発信 ー 首都圏での展示商談会への出展を支援(1回)【新規】 ー 京都市内のホテルで丹後地域の食材による料理フェアを開催(1回)【新規】 ー 旅館やホテル等での地元食材(アサリ、クロアワビ等)のさらなる活用等、観光と連携した地域内消費拡大の取組支援
	<b>9</b>	<b>丹後あじわいの郷を拠点として、「丹後・食の王国構想」を推進し、食関連産業を地域の新たな成長産業として育成します。</b>
	小項目	<b>①「丹後・食の王国」構想関連プロジェクトを戦略的に展開し、食関連産業を地域を牽引する新たな成長産業として育成</b> ー 生産者、観光業者、流通販売業者等で構成する「丹後・食の王国プラットフォーム」の構築による消費者視点を重視した「売れる」商品開発
	小項目	<b>②「丹後あじわいの郷」を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化</b> ー バイヤーを招き地元企業等が販路開拓するための大商談会を開催(1回)【新規】 ー 丹後の食材を販売する定期市(マルシェ)を開催(10回)【新規】 ー 食文化を発信し観光誘客を図るご当地グルメ祭を開催(1回)【新規】 ー 農業や漁業、ものづくりなどの体験や地域食材を味わえるレストラン、店舗などを積極的に発信

地域振興計画	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
重点施策等	(3)	「食」を支える基盤づくり	基本目標
運営目標	10	担い手の確保育成等を支援します。	
	小項目	①農業法人担い手のインキュベーション機能の強化支援 (新規就農希望者の研修を行う法人数 5法人)【新規】	
		②集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門の売り上げアップを支援 (京野菜部門の売り上げが増加した法人数2社)【新規】	
		③若手農業者の経営能力向上を支援 (経営能力セミナー2回)【22目標:1回→2回】 (家族経営協定締結1事例)【新規】	
		④国営開発農地への参入法人の早期定着化のための技術指導を強化	
		⑤新規就農希望者等の農業基礎知識習得を支援 (農業基礎講座開催回数7回)【22目標:7回→実績:7回】	
		⑥農林水産業を支える多様な担い手を確保育成 -新規就農者等の確保育成(30人)【H22目標:20人→実績:20人】 -「京都の海」未来を担う人づくり推進事業による新規漁業者の確保(新規漁業者数 3人)【新規】	
	11	有害鳥獣被害対策を推進します。	
	小項目	①野生鳥獣の被害を軽減するため、地域ぐるみで取り組む防除対策を支援 -シカ、イノシシなどの対策として、広域防護柵の設置や地域住民による追い払い強化などの取組を支援 (集落一体型防除地区数 60箇所)【新規】 -サルに発信器を装着し、行動を把握するなど、地域ぐるみの追い払い・捕獲を支援 (発信器装着群数(行動把握群数) 5群)【新規】 -鳥獣を里に寄せ付けないための緩衝帯(バッファゾーン)を整備 (5箇所、緩衝帯整備面積13ha)【22目標:5箇所→実績:5箇所】	
		②新規狩猟免許取得者を拡大し、有害鳥獣の安定的な捕獲体制を維持・強化 (新規免許取得者数 20名)【H22目標20名→実績54名】 (新規免許取得に向けての丹後独自の講習会の開催回数 1回)【H22目標:1回→実績:2回】	
③複数の猟友会の連携による広域捕獲の推進 兵庫県と連携した広域捕獲 (実施回数 2回)【H22目標:2回→実績:3回】 管内猟友会の連携による広域捕獲 (実施回数 2回)【H22目標:2回→実績:2回】			
12	環境にやさしい農業を推進します。		
小項目	①地域をあげた環境にやさしい農業推進のモデルを育成 (構成員全員がエコファーマーを取得する生産者グループ数1グループ)【新規】		

地域振興計画	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
重点施策等	(1)	中小企業へのステップアップ支援	基本目標
運営目標	13	総合的な中小企業支援・サポート体制の整備を推進します。	
	小項目	<p>①商工会議所、商工会との連携による中小企業者の経営改革や設備投資等への支援      ー「中小企業応援隊」の企業訪問を通じ、企業自身が気付いていない強みや弱みの分析による経営改革を促進し、技術開発や市場開拓等の投資につなげる等、企業イノベーションを支援(訪問回数 延べ3,500回)【新規】</p> <p>②元気な地域づくり応援ファンド支援事業や、農工商連携応援ファンド事業など各種支援施策を活用し、新規創業や新たな事業展開を図る中小企業者を支援(支援事業採択件数 20件)【22目標:15件 → 実績:20件】</p>	

地域振興計画	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
重点施策等	(2)	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用	基本目標
運営目標	14	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用を推進します。	
	小項目	<p>①「丹後・知恵のものづくりパーク」を有効活用し、(財)京都産業21や業界団体との連携による研修会、講習会や技術相談等を通じた後継者、技術者の育成      (研修受講 延べ3,500人以上)【22目標:延べ3,000人以上 → 実績:1,851人】      (技術相談 延べ5,000人)【22目標:延べ5,000人 → 実績:4,639人】</p> <p>ー機械金属業の試作・設計・開発力を兼ね備えた高度機械加工技術者を15人以上養成(中堅技術者を対象)      【22目標:15人以上 → 実績:15人】</p> <p>ー丹後機業後継者を10人以上育成(新規就労者及び勤続10年以内の従業員を対象)【22目標:10人以上 → 実績:12人】</p> <p>②研究開発成果の企業への技術移転や企業と連携した研究開発による試作品製作等 5件以上支援【新規】</p>	

地域振興計画	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
重点施策等	(3)	地域産業の活性化支援	基本目標
運営目標	15	丹後織物のブランド化と売れる商品づくりによる、新規マーケットへの参入を支援します。	
	小項目	<b>①丹後織物ルネッサンス事業を活用した機業とデザイナーとのコラボレーションによる丹後ブランドの新たな展開</b> ー 5グループ30機業以上での和・洋装素材や生活関連商品の新商品開発、新分野商品(寝装品等)開発【22実績:5グループ実31機業】	
	16	求人・求職のマッチング機会の増強などを通じ、新たな雇用を創出します。	
	小項目	<b>①新たな雇用の創出</b> ー 緊急雇用事業による雇用創出(新規雇用者500人)【22目標 500人→実績452人】 ー 求人開拓のための事業所訪問(訪問事業所数 50事業所)【新規】	
	小項目	<b>②求職者に対するきめ細やかなサポート</b> ー ハローワークや市町、京都ジョブパーク北部サテライト等と連携し、就職面接会等によるマッチング機会の提供強化 ー 丹後Uターンセンターにおける、U・Iターン希望者への情報提供とともに、事業所とのマッチングを増強(情報提供件数 2,000件、U・Iターン就職者数 50人)【新規】	
小項目	<b>③地域課題解決に向けた事業展開を図る企業及びNPO法人の提案型事業採択事業者(平成22年度6件)への事業化支援</b>		
小項目	<b>④ミスマッチの解消を図る介護・福祉人材確保対策の推進</b> ー 京都ジョブパーク等関係機関と連携した就職セミナー、施設見学会等の開催 ー 介護施設職員の質的向上と定着支援のためのセミナー等の開催		

地域振興計画	5	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
重点施策等	(1)	保健医療	基本目標
運営目標	17	地域の保健医療体制整備を支援します。	
	小項目	①丹後地域保健医療協議会の開催や事例研究等を進め、地域の医療・福祉関係者間の効果的な連携体制を構築するとともに、地域医療再生基金を活用した診療所等の医療機器の高度化等により、地域の医療提供体制の充実を支援	
	18	与謝の海病院の地域医療支援病院機能の充実と地域医療機関の連携を図ります。	
	小項目	<p>①「府立病院3箇年運営目標」(H22～H24)に基づき、丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として専門医療体制の充実を図るとともに、地域医療支援病院として、地域医療機関に対して一層の貢献</p> <p>②丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として、地域住民の多様な医療需要に対応できるよう診療体制の整備充実を積極的に推進</p> <p>ー地域がん登録事業 210件【22目標:200件→実績:210件】</p> <p>③地域に必要な診療を提供するために、安定した医師確保のための高度医療機器や地域連携型電子カルテの整備など、魅力ある環境づくりを推進。また、京都府立医科大学や京都府地域医療支援センター(仮称)と連携し医師確保を推進</p>	
	小項目	<p>④丹後医療圏の地域医療支援病院として、地域の病院・診療所等と連携し、圏域全体の医療基盤の充実を図るために、診療支援や医療機器等の地域共同利用を積極的に推進</p> <p>ー地域医療機関との連携強化による紹介率の向上(80%)【22目標:80%→実績:76.7%】</p> <p>ー地域の医療機関への診療機器の共同利用の推進(1,000件)【22目標:800件→実績:970件】</p> <p>⑤病院設置の経営戦略会議において毎月患者動向を分析し、良質な医療サービス提供体制の方策、地域医療機関との連携・協働のあり方、経費の削減等を検討し、効果的、効率的に病院を経営</p> <p>ー経常収支比率(%) 94.5%【22目標:93%→実績91.6%】</p> <p>ー病床利用率(%) 87.6%</p>	



<b>運営目標</b>	19	<b>「たんご健康長寿日本一」を推進します。</b>
	小項目	<p>①がんの予防と早期発見・早期治療を進めるために、<b>胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん検診の受診率50%</b>を目標に、<b>受診率の低い市町の受診率を30%以上</b>に向上【22目標：特定健診受診率50% → 実績：約32%、がん検診受診率50% → 実績：約13%～56%】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－「健康長寿推進丹後地域府民会議」に、新たに「がん対策部会」を設置し、参画団体との協働による啓発を実施（部会2回）</li> <li>－市町や職域・女性等の関係団体との協働による「がんフォーラム」やターゲットを絞った「健診受診キャンペーン」を実施（10回）</li> <li>－「健康だより」を発行し、府民会議の参画団体の活動や、がんの予防等の啓発を実施（年3回）</li> </ul> <p>②地域でいきいきと暮らしていくための地域リハビリテーションの充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－理学療法士の複数体制での活動などにより、地域リハビリテーション支援センターの機能を強化</li> <li>－宮津与謝地域に地域リハビリ支援センターの支所的機関を新たに設置し、同地域での相談体制を強化</li> <li>－地域リハビリ支援センターの活動の円滑化に向けて、圏域連絡会やリハビリ検討会を通して関係機関との連携を強化（2回）</li> </ul>
	20	<b>食中毒の発生予防、食品の安心安全の取組を推進します。</b>
	小項目	<p>①食品の残留農薬や細菌検査等を行い、食品衛生法違反食品の流通を防ぎ、府民の健康被害を予防 (品目数・検体数 <b>26品目、103検体</b>)【22目標：25品目、109検体 → 実績：25品目、109検体】</p> <p>②合同食品表示パトロール活動により、消費者に正確な情報を伝え、安全な食品の提供を指導 (立入検査件数 <b>30件</b>)【22目標：30件 → 実績：27件】</p>
	21	<b>家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。</b>
	小項目	<p>①農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底し、農家の飼養衛生管理水準を向上させ、家畜伝染病を未然に防止 (全偶蹄類飼養農家(37戸)1回以上/年)【新規】 (養鶏農家(千羽以上6戸)4回/年)【新規】 (自家用家きん飼養者(千羽未満133戸)1回/年)【新規】</p> <p>②農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底 (サーベイランス実施回数 年4回(全養鶏農家6戸))【新規】 (モニタリング実施農家数 3農家/月)【新規】</p> <p>③農場における家畜伝染病発生予防対策、まん延防止対策の徹底を指導し、畜産農家における「飼養衛生管理基準」の遵守意識を向上 (衛生情報の発行24回以上)【22目標：24回以上 → 実績：55回】</p>



地域振興計画	5	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
重点施策等	(2)	高齢者、障害者及び子育ての支援	基本目標
運営目標	22	高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制を構築します。	
	小項目	<b>①認知症の方やその家族を地域で支援する体制づくりの整備</b> ー 認知症サポーターの養成講師(キャラバンメイト)等各地域のリーダー養成を支援(50人)【新規】 ー インターネットを活用した認知症等の相談体制の強化と拡大 ー 各市町の徘徊模擬訓練の拡大を支援(3カ所)【22目標:4地域 → 実績:1地域】	
		<b>②介護保険サービス基盤施設整備の支援</b> ー 特別養護老人ホームの整備支援(支援施設数 4カ所(宮津市1カ所、京丹後市2カ所、与謝野町1カ所)) 【22目標:1カ所整備、3カ所計画樹立 → 実績:2施設整備決定、2施設整備計画】 ー 小規模多機能型居宅介護施設の整備支援(支援施設数 2カ所(京丹後市)) 【22目標:2カ所整備 → 実績:2施設整備決定】 ー 認知症対応型共同生活介護施設の整備支援(支援施設数 2カ所(宮津市1カ所、京丹後市1カ所)) 【22目標:1カ所整備 → 実績:2施設整備計画】	
	23	障害者の自立と社会参加を推進します。	
	小項目	<b>①障害者就業・生活支援センターを中心に関係団体、市町等と連携し、障害者の就労と定着を支援(圏域での就職実績人数 20人以上)【新規】</b>	
		<b>②ハートショップたんご連絡会議を中心に、地域の特色を活かしたほっとはあと製品の開発、販売の促進と工賃アップを支援(ほっとはあとセンターのアドバイザーの活用、カタログ作成、共同受注、ネット販売等)</b>	
<b>③地域で自立した生活を行うためのグループホーム・ケアホームの整備を支援(宮津与謝地域、京丹後地域で各1か所以上)【22目標:宮津与謝・京丹後各1カ所 → 実績:各1カ所】</b>			
24	健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。		
小項目	<b>①病気や発達に障害のある子どもと保護者への支援体制を充実</b> ー 小児科医による乳幼児の発達障害等に係る相談を実施(年30回)【新規】 ー 発達の障害に早期に気づき、就学までに適切な支援を行うため、管内各市町が行う「年中児発達サポート事業」を支援(臨床心理士(24回)と保健師(12回)を派遣。保護者に対する発達サポートフォロー教室を開催(1回)) ー 市町や教育機関、地域支援団体と連携して保護者支援のための教室を実施(小児難病の親の集い、自閉症児等の親の集い 各1回) ー 医療処置の必要な重症難病等の子どもに対して、医療機関や保育・療育・教育機関と連携し、健やかな成長とスムーズな就学を支援(連携会議10回) ー 病後児保育の新規実施(1箇所)		

地域振興計画	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
重点施策等	(3)	自殺のないまちづくり	基本目標
運営目標	25	自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進します。	
	小項目	①管内各市町、各機関との相談窓口の連携強化により、管内での自殺者数を減少 ー「丹後管内自殺対策連絡会」を設置し、管内市町・関係機関相互の情報共有と連携体制を整備 ー相談機関、かかりつけ医等対象の研修実施、出前語らい等によるうつ、認知症の理解の拡大 ー市町等と連携した自殺ストップ広報の強化 ー京丹後市の自殺予防対策の他市町への拡大	

地域振興計画	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
重点施策等	(4)	安心安全な消費生活の実現	基本目標
運営目標	26	消費者被害の迅速な問題解決を図ります。	
	小項目	①事例研究等により「消費者丹後あんしんチーム」消費生活相談員のスキルアップを図り、消費者被害案件を早期解決 (事例研究会の開催 24回)【22目標:24回 → 実績:24回】	

地域振興計画	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
重点施策等	(5)	安心安全のまちづくり(河川整備、土砂災害対策等)	基本目標
運営目標	27	市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援します。	
	小項目	①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、大規模災害時等の迅速な対応力を向上	
	28	治水対策を推進します。	
	小項目	①近年浸水被害が頻発している河川の改修整備の推進 ー岩屋川・加悦奥川(野田川支川)、福田川(上流部の用地買収着手) ー小西川(工事着手)等	

運営目標	29	総合的な土砂災害対策等を推進します。	
	小項目	①砂防事業、急傾斜事業、治山事業の推進 ー砂防事業(工事推進10箇所、五万騎川(宮津市)など2箇所完了、1箇所工事着手) ー急傾斜事業(工事推進6箇所、河梨(京丹後市)など2箇所完了) ー治山事業による荒廃溪流の復旧整備(復旧箇所 9箇所)【22目標:13箇所→13箇所】	
		②土砂災害警戒区域等を新たに300箇所指定(指定箇所数 1,247件)【22目標:250箇所 → 実績:231箇所】	
	30	災害と雪に強い道路ネットワークを整備します。	
	小項目	①国道178号の橋梁耐震性を向上する工事の推進 ー不動橋の耐震補強、水ノ江橋の架替	
		②緊急輸送道路の強化 ー国道482号尉ヶ畑拡幅・丹後弥栄道路	
③冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進 ー国道312号(水戸谷工区)消雪パイプ工事 ー浜丹後線(中山工区)スノーシェルター工事完成			
31	建築物の安心・安全の確保を推進します。		
小項目	①管内市町と連携し木造住宅耐震改修(補助)を促進(管内市町で耐震改修 10戸)【22目標:10戸 → 実績:10戸】		

地域振興計画	4	府民が共にいきいきと安心に暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
重点施策等	(1)	人権の尊重、地域力再生・NPOとの協働	基本目標
運営目標	32	協働コーディネーターや大学連携コーディネーターの活用による地域力再生団体とNPO団体等の交流、地域力の再生を推進します。	
	小項目	①コーディネーター等による相談や地域力再生プロジェクト支援事業を活用した「日本海観光プロジェクト」、「丹後・食の王国プロジェクト」等とも連携した活動への支援を通じて、地域力再生団体を育成(団体数 100団体)【新規】 ②情報発信プラットフォームのもと、「FMたんご」などの地域情報発信ツールを活用しての情報発信やテーマ別情報交換会を開催し、地域力再生団体間の交流を活性化(情報発信団体数 50団体以上)【22目標:40団体以上 → 実績:41団体】(テーマ別交換会開催回数 3回以上)【新規】	

地域振興計画	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
重点施策等	(2)	命の里の再生とふるさと保全活動及びふるさと定住等	基本目標
運営目標	小項目	33	里力再生計画の実現に向けた活動を支援します。
		<p>①里力再生計画を策定し、生活環境基盤の整備や地域特産物の開発などの取り組みを行う地区の拡大(新規地区数 2地区) 【22目標:8地区 → 実績:8地区】 (宮津市世屋、日ヶ谷、上宮津、京丹後市大宮町五十河、丹後町宇川、久美浜町神野、伊根町本庄・筒川、与謝野町滝・金屋、23年度新規は宮津市日置、京丹後市(公募))</p> <p>②高齢化の進む集落で、市町や社会福祉協議会等と連携して、セーフティネットとしての独居老人の見守りなどの健康福祉活動を支援(京丹後市と宮津市で各1地区)【新規】</p>	

地域振興計画	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
重点施策等	(3)	より利用しやすい公共交通ネットワークの実現及び道路網や情報通信基盤など基盤整備の推進	基本目標
運営目標	小項目	34	市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数 210万人を確保します。
		①KTR利用促進協議会と連携し、住民参加のシンポジウムの開催等を通じて、地域の公共交通ネットワークへの住民意識を向上	
		②四半期毎に利用者状況を検証の上、沿線市町と連携し、通勤時の利用促進などの取組を強化	
		③KTRを支える沿線市町と連携して、サポーターズクラブ会員等1万人達成に向けて、サポーターズクラブ会員、トレインオーナー年間5,000人を獲得 【22目標:5,000人→実績:4,056人】	
④「北部地域総合公共交通検討会」を設置し、北部地域の総合的な公共交通のあり方について検討し、公共交通機関の平成24年ダイヤ改正へ反映			

地域振興計画	3	環境と文化の伝承	
重点施策等	(1)	丹後ならではの自然環境・文化をいかし、守り育てる	基本目標
運営目標	小項目	35	「山陰海岸ジオパーク」を「丹後・食の王国プロジェクト」や「日本海観光プロジェクト」との連携のもとで、新たな地域産業の資源として活用します。
		<p>①京丹後市や推進協議会事務局等、関係機関と連携した効果的なPRイベント等の実施によるジオパークへの誘客を推進【新規】 －海上モニターツアーや110<sup>+</sup>ウォーク －京都駅前等でのPRキャンペーン －体験学習会(15回)等</p> <p>②市町や地域団体と連携し、体験観光や土産品等のジオパーク関連商品の開発を支援します。</p>	

運営目標	36	天橋立の世界文化遺産をめざした取組を推進します。
	小項目	①天橋立の世界文化遺産登録を目指した学術的な調査を進め、国際的評価を向上 ②地域団体との連携・協働による天橋立の松並木保全への取組や、価値を次世代に伝える小学校などへの出前講座などの取組を支援
	37	阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。
	小項目	①阿蘇海の環境改善に資するシーブルー事業(浅い海底を覆砂)の推進(面積4,500m <sup>2</sup> ) ②阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善(アマモ場造成技術の開発、ハマグリ、アサリ、海藻養殖の実証試験と実用化)
	38	森林の公益的機能確保と府民ぐるみの取組を推進します。
	小項目	①地域の森林を地域全体で守り育てる丹後モデルフォレスト運動の推進 (推進地区数 6地区:海岸林の再生・保全 2地区 人工林の整備 1地区 竹林拡大防止 1地区 広葉樹の森整備 1地区 地域の名木保全地区 1地区) 【H22目標:4地区→実績:5地区】
	39	丹後の優れた自然環境や生活環境を守る取組を推進します。
	小項目	①漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全(10箇所以上、2市2町内) ②産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理の根絶

地域振興計画	3	環境と文化の伝承
重点施策等	(2)	地域文化の伝承 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本目標</span>
運営目標	40	国民文化祭を契機とした地域の文化活動の一層の活性化を図ります。
		①食文化の祭典「海」をはじめとする市町と連携した魅力ある文化事業の展開(参加数10,000人)【新規】 ②「国民文化祭」に連携する地域活動を、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金において10件以上支援 また、管内市町の国民文化祭開催気運醸成のため地域の文化活動を支援。(京都文化年イベント絵巻登録数30件)【新規】